

公民科「公共」 学習指導案

北海道浦河高等学校

教諭 佐藤友洋

1 科目名

公民科 「公共」

2 使用教科書

数研出版 新版『公共』

3 対象

2年B組

4 単元名 国際政治の課題と日本の役割 「世界の人権問題と日本」

C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち

(B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち)

5 内容のまとめ

世界の人権問題と日本（主として難民の問題に関わる事項）

（国際貢献を含む国際社会における我が国の役割（主として人権の国際的広がり）

6 単元の目標

難民の問題を契機とし「国際的な人権保障」について、良識ある公民としての視点を涵養する。持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けて、主体として行動するため、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。

- ・「差別と抑圧のない世界」の実現に向けて、主体的に解決しようとする「行動する国際人」としての意識を培う。
- ・自らの考えを論理的に表現し、他者の意見との共通点・相違点を明確にしながら議論を進める。
- ・他科目、教科と学びを往還させ、多角的な視点で課題について思考を深め、探究的な視点を涵養する。

7 指導と評価の計画（4時間）

（1）単元の指導計画「難民の問題について」

第一次 当事者の視点・・・・・・・・・・（1時間）←単元の導入

第二次 国際社会の視座、支援の在り方・・・・・・・・（2時間）←「服のチカラ」「多様な支援について」

第三次 課題解決に向けて【討議】・・・・・・・・（1時間）←本時

7 単元の評価計画

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
難民の問題について理解するとともに差別や抑圧のない世界の実現について主体的に追求する視点や方法について理解している。	難民の問題に関して、資料を踏まえて思考を巡らし、多様な視点から考察を深め、根拠を明確に意見を表明している。	難民問題について関心を高め、国際的な取り組みや我が国の課題について主体的に考えている。また、主体的に追及する視点や方法を理解している。

8 本時の指導計画 (2023/11/28)

段階	学習内容	学習活動		学習形態	評価の観点
		教師の活動	生徒の活動		
導入 (5分)	◇前時の内容について確認 ◇本時の内容について確認 ◇padlet (討議用) にログイン	・前時の内容について確認 →難民に関する基礎知識 ・本時の内容について説明 →WSを各自に配布 →グループになるよう指示 ・padlet (討議用) にログインさせる。	・前時の内容をWSで確認する。 ・本時の内容を把握する ・グループになる4~5名 ・padlet (討議用) にログインする。	一斉学習 グループワーク	・難民の基礎知識について、理解し関心を持っているか。 (知識・技能、主体的に学習に取り組む態度) ①評価：
展開 (35分)	◇難民の問題に関する討議1 <15分> 準備 (5分) 討議 (8分) 結果 (2分)	・難民の問題に関する討議をさせる。 →シチュエーション説明 →役割決め (カード) させる →個人の意見をWSとpadlet (討議用) に入力させる。 →討議するよう指示する (8分) 意見交換させ、多様な視点、問題の困難さについて理解させる。 →討議の結果をWSに記入させる。	・難民の問題について、討議する。 →シチュエーションを理解する。 →個人の意見をWSとpadlet (討議用) に入力する。 →討議開始。多様な視点、問題の困難さについて理解する。 →討議の結果をWSに記入する。	グループワーク	・配布された資料を踏まえて、思考を巡らせ、適切に表現できているか (思考・判断・表現) ②評価： ・難民の問題に関する多様な視点があることについて考察しているか (思考・判断・表現) ③評価：
	◇難民の問題に関する討議2 <15分>	→座席を移動させる。 →役割決め (カード) させる。前回と違う役割にさせる。(以下、討議1と同様)	→座席を移動する。 役割決め (カード) する。前回と違う役割にする。(以下、討議1と同様)		・難民の問題について、根拠を明確にして意見を表明できているか (思考・判断・表現) ③評価：
	◇難民の問題に関するまとめ <5分>	・padlet (まとめ) に討議の結果【合意】or【不合意】のいずれかを代表者に入力させる。 ・個人の感想 (意見) を入力させる。 ・各意見について、教室全体で共有する。	・各回の代表者がpadlet (まとめ) に討議の結果【合意】or【不合意】のいずれかを入力する。 ・個人の感想 (意見) を入力する。 ・各意見を踏まえて、自分の意見を整理する。		・難民の問題について理解するとともに差別や抑圧のない世界の実現について主体的に追求する視点や方法について理解しているか (知識・技能) ④評価：
まとめ (10分)	◇本時の流れを振り返る。	・差別や抑圧のない世界の実現に向け、国際的な人権保障の重要性を確認する ・振り返りWS (クラスルーム内)、本時使用WSを回収する。	・国際的な人権保障の重要性を理解する。 ・振り返りWSに記入 →クラスルーム内 ・振り返りWS、本時使用のWSを提出する。		・難民の問題について理解するとともに差別や抑圧のない世界の実現について主体的に追求する視点や方法について理解しているか (知識・技能) ④評価：

※評価：欄について・・・授業評価アンケートで使用

4：良く当てはまる ~ 3：やや当てはまる ~ 2：あまり当てはまらない ~ 1：まったく当てはまらない